

参考資料：委員アンケートより抜粋（まちづくり、都市基盤）

区の好きなおとこ

（交通・都市機能）

- ・都心に近い為、居住者にとって通勤しやすい。事業者にとってはビジネスのチャンスが多い。最近
は、特に観光客の滞在が増えているのではないかと感じる、実際のデータを確認し、強みだとすれ
ば、その方面の施策を強化することができる。
- ・交通アクセスの良さ。
- ・機能がコンパクトにまとまっている。あまり広くない範囲に行政、商業、学習、文化などの施
設があり、自転車で10～15分の移動で行き来できる。特に中心部の押上辺りにいると、どこに行
くのも近くて生活が楽。錦糸町というほど良い大きさの繁華街があり、映画館などがあるのも嬉し
い。
- ・都市開発的には、錦糸町・両国地域、押上・曳舟地域を二本柱に交通網も整備され、都市型開発と
し確立しつつあるので、ある意味住みやすい便利な都市地域となりつつある。
- ・商業施設と公共交通の利便性が高いこと押上、錦糸町を利用すると欲しいものが大体揃えることが
でき、他の都市へ移動しやすくととても便利に感じます。
- ・家賃相場に対する都心アクセスの良さ。
- ・交通の利便性
公共交通機関が発達しており、どこにでも出かけやすい。
（区内移動については課題があると思われる。）
- ・平坦な土地で移動しやすい。

改善すべきところ

（住環境（道路・公園・住宅））

- ・楽しく安全に歩ける道がない。
（お年寄りやベビーカー、子供達を含め、誰もが楽しく安全に歩けるような歩道の整備。
街路樹やベンチなどが無い。車や自転車との分離なども課題。）
- ・高齢者や子育て世代が安心して散歩や遊びができるような公園や緑道、水辺の空間など、自転車の
練習、ミニバスケットなどができるオープンスペースを増やしてほしい。密集していることで生まれる
スペースの活用を進めて欲しい。
- ・街路樹管理と小ベンチ整備
例:① 財源は寄付(個人・企業)公募も活用し、整備を進める。管理が行き届いた景色は防犯上も効
果的かと思われます。また小ベンチの設置は高齢者にもやさしい街の配慮のカタチであって欲し
い、そんな思いに由ります。
- ・住宅施策
ワンルームマンションをはじめ、床面積の小さい物件が多く、家賃・価格の上昇もあり
ファミリー層が途中で転出してしまふ。
- ・現在、特に南部地域を中心にシングル向けのマンションの建設が増えており、単身世帯の住民が増
加し税制が潤っている。反面、ファミリー向けのマンションが少なく、また高価格帯であることか
ら子育て世帯がある一定の年齢になると他地域へ転出する傾向にあると聞く。子育て世代が転出

しないよう、住宅補助や子育て向けの住居の建設など住み続けたいまちの支援を強化すべきである。

- ・モラルの低い区民がいる。道路や公園でのタバコやごみのポイ捨て、自動車と自転車の危険運転が見られる。もっと厳しく取り締まれないだろうか。モラルの低い人のせいで区民が不快な思いをしたり危険に晒らされたりするのを避けたい。
- ・道幅が狭い、見通しが悪い、ガードレールがない道路がある、歩行者、自転車、バイク、自動車にとって危険。危険個所の洗い出しと対策が必要であると考え。誰にとっても安心安全な道路を目指したい。
- ・老人クラブの「歩く会」で古いゆかりのある吾嬭神社へ行ったとき、隣接して吾嬭公園がありましたが、ここは草がボーボーで公園の程を成していませんでした。よく見るとトイレと水道がありませんでした。どんな小さな公園でもトイレと水道があれば、必ず誰かが来ますし、とりわけ災害時の一時避難場所としては本当に大事です。指定された避難場所だけでは収容しきれません。色々な意味で公園の活用が大事になりますので、トイレ、水道は最小限保障として維持しつつ、もっと個数を多くし、子どもだけでなく老人も使える、例えば台東区にある簡単な柔軟体操ができる補助器具なども設置してもらいたい。公園の位置付けを高めてもらいたいと思います。
- ・暮らし続けたいような水辺・公園整備。
- ・公園が少ない

特に子ども達が自分で遊びを見つけられるような公園が必要。

(遊びを限定する大型遊具がない公園がもっとあるとよい。)

- ・立川四丁目の橋(南辻橋)の架替工事に10年もの年月がかかってしまい、時間のかけすぎである。地元としては迷惑。同じ下流の大横川の江東区の三石橋工事は2年半で完成。それが普通。

(交通)

- ・コミュニティバスが3路線で一方方向にしか走っていないこと。
隣の台東区と比べると路線が少なく、また一方方向にしか走っていないので、とくに両国方面には行きたいのに行きづらい状況になっています。
河川を活かした交通や、観光への利用がもっと進めばと感ずることが多いです。
- ・南北(例:両国~曳舟)の交通手段の少なさ。横(東西)は比較的移動しやすいが縦(南北)は不便。また、JR 錦糸町駅南口・北口が自由に行き来できないのは改善すべき。

まち全体として大切にしていすべき理念

- ・限られた中であっても自然との調和を意識したまちづくり。
- ・自然を感じ、触れられる環境と景観。
- ・コミュニティ空間として道路や公園を利用する。
- ・路地園芸(沿道緑化)と公園などの農園化の文化。
- ・墨田区には大横川をはじめ、小さな川が住民のうらおいになっており大切にすべきである。
他の区によっては川を暗渠するなどあってはならないと思う。
- ・河川を活かしたまちづくり、コミュニティを増やしていく。
- ・北十間川等の内部河川の水辺空間整備と、舟運利用の検討をして墨田区の独自性をアピールしてはどうか。

- ・これまでの墨田の街づくりは産業構造的な中核的まちづくりとして、錦糸町、両国、スカイツリーと押上、曳舟、そして自然環境づくりを兼ね備えた鐘ヶ淵地域等があり、これらを核に交通網も充実してきました。この結果、全体的なイメージは「来てよかった」という点に力点が置かれてきたと思います。
- ・これからの力点は、「住んでよかった」「住みたい街」づくりではないでしょうか。私は老人クラブをしているので、この立場から見ると、「老人には住みにくい街」「追い出される街」になりつつあります。老人が「住んでいて良かった」と思えるような街づくりが、心のかよった街づくりになると確信します。

※アンケートの原文ママで意見を掲載しています。